

図書館に読みたい本がないときは…

―図書リクエスト活用のすすめ―

布野 真秀（学術情報課）

日本、そして世界において毎年何点の本が出版されるかご存知でしょうか？『出版年鑑』平成三〇年版によると、日本国内で約八万点、世界では約八六万点の本が出版されています。

東京外国語大学附属図書館の蔵書は平成三〇年度当初で約七二万冊があり、学生の皆さんの学習・研究に役立つ本を毎年一万冊前後受け入れています。しかし、毎年出版されるすべての本を蔵書に加えることはできません。時には必要な本が図書館にないこともあるかと思いますが。

研究書や専門書は、自分で購入しようと思っても、高額だったり発行部数が少なかったりして入手が難しい場合があります。そんなときは、図書リクエストをうまく活用して学習・研究を進めましょう。

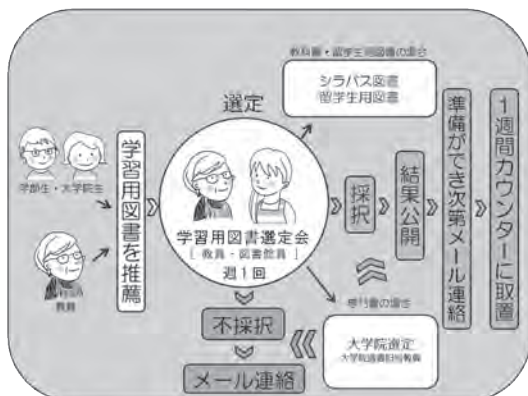
図書リクエストとは？

図書リクエストは、図書館に必要だと思う本を推薦できる

制度です。本学の学部生・大学院生・教員が利用できます。推薦された本は、週に一回選書担当教員と図書館職員で、購入するかどうかが検討されています。無事採択されると、図書館で本を購入し、準備ができ次第推薦した方に連絡します。

どうやって推薦するの？

図書リクエストはMy Libraryから行います。図書館ホームページにあるバーナーからアクセスしてください。下記のQRコードからもアクセスできます。



ICCアカウントでログインすると、My Library 画面左のメニューに「図書リクエスト」があります。画面の指示に従い入力して送信してください。なお、推薦した本が採択されたかどうかは My Library で確認できます。

どんな本を推薦できるの？

皆さんが学習・研究する学問分野の基本書・学術書や、参考図書に指定されているテキストが対象です。各国文学の翻訳作品なども含め、様々な本が推薦されています。

また原則として日本語の本を対象としています。外国語の本が学習・研究上どうしても必要なときは、推薦が受けつけられる場合があります。

皆さんからどんな推薦があったのかは図書館ホームページ内「図書館からのお知らせ」で随時お知らせしています。図書館二階の蔵書検索端末脇にある冊子でも公開していますので、興味のある方はぜひご覧ください。

推薦する時に気をつけてほしいこと。

最後に、図書リクエストをするときに気をつけてほしいことがあります。

まず、図書リクエストには推薦理由を必ず添えてください。推薦する本が図書館に必要な理由をしっかりとアピールする

ことが大切です。購入した本は図書館の蔵書として多くの学生に利用されるため、選定するときに、その本が学生にとって永く役立つものか検討します。推薦理由は重要な判断材料です。

また、推薦した本が利用できるようになるまでには一か月から二か月程度かかります。少々時間がかかりますので、レポートや論文で必要な本は早めに推薦するよう気をつけてください。

学習・研究に必要な本や、図書館にあるとよいと思う本がありましたら、ぜひ図書リクエストをご利用ください。皆さんからのリクエストをお待ちしています。

1 大学院生からの専門書のリクエストの場合、大学院選書担当教員による選定を行います。

2 比較的新しい日本語の本の場合です。古い本や外国語の本の場合は、入手するのに時間がかかることや、絶版となっていて入手できないことがあります。